

[9月9日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

ひむす
小二
いとうさち

大平邑峰先生

幼・小学1年参考手本

よ
小一さくまりん
柳橋香仙

柳橋香仙先生

小二
さとうとしお
メロ

大隅晃弘先生

うみ
小一いしいみく

片岡豪峰先生

〔9月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

小学3年参考手本



小池蹊舟先生



川村美泉先生



田守光昭先生



小川弘舟先生

〔9月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

小六 原田新市

防災

小竹石雲先生

小学5年参考手本

小五

三浦洋子

満月

川島舟錦先生

小六

永田真衣

の敬老

名越蒼竹先生

小五

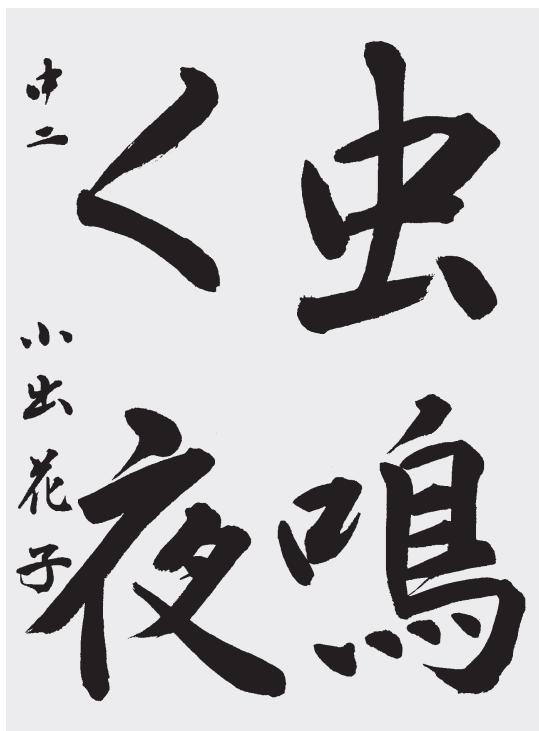
佐藤太郎

人時の

佐藤菜扇先生

[9月9日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

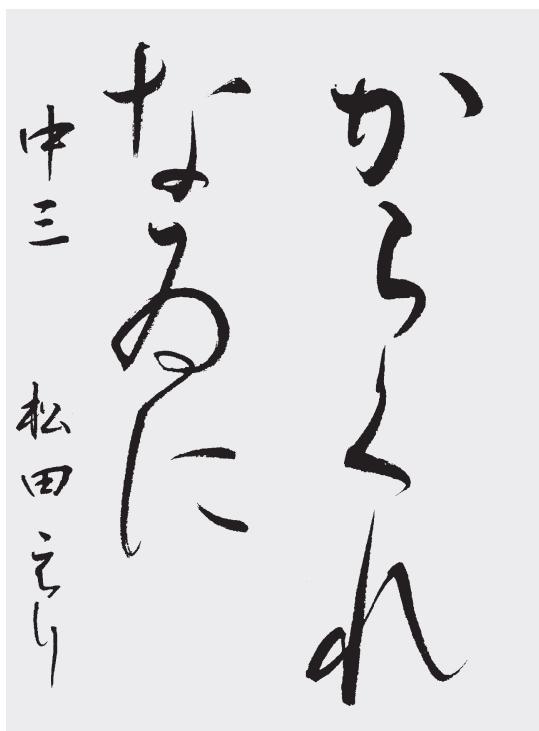
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



辻元大雲先生



東福青篁先生



下谷洋子先生



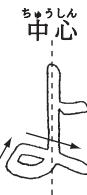
小林琴水先生

毛筆参考手本解説(1)

1年

「ひつじゅん」

「よ



与 与 与 よ

3年

字形



口 曰 旦 星 星 星

4年

字形



ニ 千 禾 和 秋 秋

長く

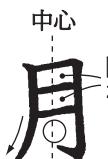
5年

字形



一 ノ ナ 满 满 满 满

間かく



字形



筆順



筆順

ノ 几 几 同 風 風



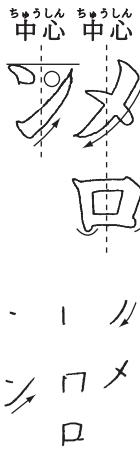
筆順



筆順

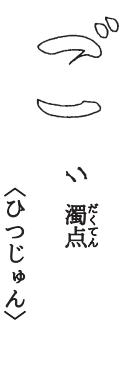


筆順

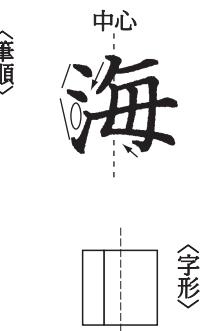


2年

女 メ 口 口 〇 ン
「じげん」



「ひつじゅん」



筆順

シシ 汝 海 海 海

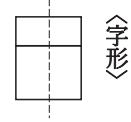


筆順

日 日 时 时 时

毛筆参考手本解説(2)

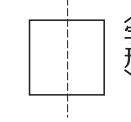
6年 中学



筆順
く「災」

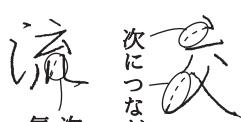


筆順
宀「実」



筆順
ノ「行」

やさしい行書



次につながる氣持で

次につながる
氣持で

連続
「し」

語意

・作者
在原業平

・百人一首
千早ぶる神代もきかず
龍田川からくれなるに
水くるとは

からくれ
なるに

口→行
楷行

く鳥
虫夜鳴

…を→連続してもよい

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

ひらがなの字源 (323)

							源字	字形
に	ゐ	な	れ	く	ら	か	加	かか
仁	為	奈	礼	久	良	𠂊	か	カ
に	々	ゑ	社	久	ら	𠂊	か	カ
に	に	ゑ	れ	く	ら	𠂊	か	カ

* 源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。

* 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

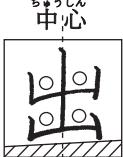
からくれなるに
鮮やかな紅色という意味。
「から」は「韓の国」や
「唐土」を意味する。
ゐ：日本語の音節のひとつ。
であり、仮名のひとつ。

[9月9日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

幼・小 学 1 年

支 部 名	中	き	
段・級	で	ゅ	
学年	ね	う	
二	を	こ	
名前	出	ん	は
長谷川光	し	は	土
	ま	す	の
	す		



一
十
中
出
出



ま
じ
わ
る
い
ち
に
ち
ゅ
う
い



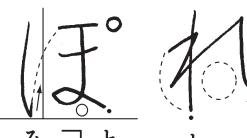
三
画
目
を
長
く
書
く
(だ
い
け
い)

『きゅううこん』
「出」の字形を、ととのえて書きましょう。



む
す
び
を
大
き
く

み
じ
か
く
は
ら
う



よ
こ
た
は
ら
う

「〇」のいちにきをつけましょう。
みぎうえへつづけるつもりでかく。

『うま』
「きひつ」「しゅうひつ」にきをつけてか
きましょう。

[9月9日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 4 年

小 学 3 年

支部名	の	は	木	
	ぼ	、	登	り
段・級	り	真	リ	の
	始	つ	先	う
学年	め	に	に	ま
四	ま	杉	の	い
名前	し	の	木	喜
吉田奈央	た	に	に	作
	。			

支部名	ら	帰	つ	
	り	っ	て	き
段・級	き	ま	さ	ま
	し	し	し	し
学年	三	水	口	夏
三	み	み	く	な
名前	水	く	な	か
	く	な	な	か
	。	。	。	。

始

吉

登

『木登り』
分間（画と画の間）に氣をつけて、漢字
の字形を整えよう。
とめて右へはらう
べ（はつがしら）の（筆順）
フタヌベベ

女

横が出る
たてが出る

女（おんなへん）の形に注意
一画目の折れの角度

帰

社

会

「へん」と「つくり」の
大きさに気をつけて
書きましょう。

（か）と（か）のせつし
かたに（ちゅうい）
注意

『お父さん』
「帰」の字形を正しく書きましょう。

[9月9日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

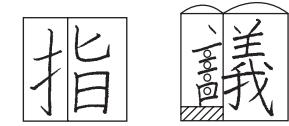
小学5年

支部名	建	議	長	の	指	示	に	従	フ	て、
段・級	設	的	な	意	見	を	述	べ		
学年	や	う	き	を	け	よ	う			.
六	う	き	を	つ	け	よ	う			
名前	堂	本	都							

支部名	見	学	・	調	査	な	ど	が	あ	る。
段・級	・			・	・	・	・	・	・	
学年	五			・	・	・	・	・	・	
名前	種	田	修	二						

従
はらいの方向に注意
一度とめて右へはらう

指
一度とめて右へはらう



戈 (ほこづくり) の形と「画」の
長短に注意
(筆順)
一ノオオオオ指

『会議』
漢字の字形を正しく整えて書きましょう。

- 8 -

查
遠
題
是に貢をのせる
とめて右へのびやかにはらう
東と辶(しんによう)の組み立てに注意
二画目(たて画)を短く
(中心線) 左右のはらいの方向に注意
え

『グループ作文』
「によう」の部分を正しく書きましょう。

[9月9日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生(行書)

中学生(楷書)

支部名	
段・級	
学年	
中二	
名前	
望月利加子	中國地方の山懷に抱かれた津 和野は、山陰の小京都ともいわ れる落ち着いた城下町である。

城

筆順に注意

落

落

筆順
〔簡単な行書〕
サ(くさかんむり)の行書

- 9 -

支部名	
段・級	
学年	
中二	
名前	
望月利加子	和野は、山陰の小京都ともいわ れる落ち着いた城下町である。

中心
城

筆順
ナカガタ城城城

右上にはらう
ひるく

中心
落

筆順
ササシ莎莎落落

〔津和野〕
字形を正しく落ち着いて運筆しましょう。

これからのお品締切日と課題

10月号～H31・3月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5
物 ト 宇
が の 宙
重 中 宙
さ で を
を は 旅
失 、 す
い す る
ま ベ ケ
す て ケ
。 の ツ

幼・小 1
う き
の 石
石 で
れ い
い な
な も
も よ

10月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

小 6
ど 全
に 国
品 各
質 地
が に
向 牧
上 場
し 売
し 出
た す
。 ほ 、

小 2
し 口
い の
は 形
つ を
音 ま
を ね
し て
よ 正

小 3
記 フ
は ア
有 ラ
名 ブ
な ル
本 こ
で ん
す ち

小 4
わ て 自
か い 分
ら る 分
な よ 分
い う 分
も と 分
の も 分
だ 、 わ 分
。 案 か 分
外 つ 分

中学生
「堅忍不拔」とは、じつと我
慢して心が揺るがないこと。
つまり意志強固なことをいう。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・ 小 1	締切日
陽心 を 太	趣 味	調 査	運 動	区 間	十 月	川	か 10月 8日 10月
るみづくぐ るとは	宇 宙開発	演 奏会	金 魚	研 究	白 玉	ぶどう	た き 11月 7日 11月
な印象的	能 筆	晚 秋	大 使館	成 長	光	れもん	ゆ 12月 5日 12月
れくもしがく	公 平無私	貿 易	計 画	ボスラー	文 化	きのこ	や ぎ 1月 9日 1月
詩の朗読	電 波	雪 国	流 行	注 文	冬 山	そ ば	も 2月 10日 2月
つよきかのな	理 想実現	武 道館	師 走	絵 本	花 たば	テレ ビ	は れ 3月 10日 3月
強い決意	猪 突	千 鳥	賀 正	お 年玉	学 ぶ	て まり	わ のけふにここ 温故知新
二東大寺	樹 氷	富士山頂	豊 か	新 年	元 日	カ ルタ	ゆ き 春の海ひたりね 大器晩成
字源辞典	窓の景色	夢 心地	節 分	雪 原	外 国	あ られ	お に 卒業写真
のもすり	春 風	将 来	果 物	活 気	生 きる	木 れ	な わ 竹馬 マリモ

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部児童教育学科長・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「明解・書写教育」などがあります。

第18回 小学校での学習漢字・画と画の接し方

先月号では、漢字「十・川」の最終画の終筆の書き方にについてお話ししました。今回は、画と画の接し方について、漢字「原・広・張」をもとにしてお話しします。各漢字の「上」が明朝体、「中」が教科書体、「下」が部首の手書きです。

原 原 ㄏ・広 広 ㄏ

いう法則があることを知りました。万全のように思われている教科書体活字と、手書き文字の形との違いのひとつです。
長年、書道を鍛錬されてこられた方はこんなことは知っている（常識）と思われますので、次に「弓へん」のある文字「張」について二画目と三画目の接し方について考えようと思います。今度も明朝体（ア）・教科書体（イ）・部首の手書き（ウ）で示してみました。

（ア） 張 （イ） 張 （ウ） 弓

以前、小学校で学習する手書き文字の形は、教科書体活字がもととなっているというお話をしました。しかし、「原」の「がんだれ」の場合、二画目の横画と、二画目の左払いのある画との接し方が明朝体と教科書体の両方とも、よくみると、後から書いた画の始筆の筆先の方が出ているように見えます。「広」の「まだれ」の横画と左払いのある画についても同様に見えます。

しかし、手書きの場合は、このような接し方では書きません。手書き文字の場合は「先に書いた画の始筆の先を出すことを原則とする」といふづく

「弓へん」に関しては、①三画目の縦画の始筆が出る。（右の教科書体活字のように）、②二画目の横画の始筆の筆先が出る。正解はどちらでしょうか。これも「先に書いた画の始筆の先を出すことを原則とする」という法則から、正解は、②となります。（ウ）の手書きをご参照ください。

今月のホープ



小六岡本実樹（雲母支部）

カタカナの点画がしっかりと力強く書けています。はね、はらいも安定して、名前もていねいで立派です。

支部名 竹の子	段・級 段	温故知新とは、古いことを研究することにより新しい知識や道理を発見することである。
学年 中二	氏名 木村桃子	

中二木村桃子（竹の子支部）

一字毎のハネ・ハライ・形をしっかりと確認しながら書いています。漢字とかなの調和もよく見事な作品です。



小一橋本撫子（妙典支部）

筆力のあるどっしりとした構えで、とても存在感のある作品になりました。名前も丁寧に書けましてこれらが楽しみです。

支部名 春華	段・級 段	よくつくり効果がある。	された標識は、人目に	黄色と黒でデザイン
学年 五	氏名 三ヶ田悠眞			

小五三ヶ田悠眞（春華支部）

力強いタッチで最後まで書いています。一字一字丁寧に筆記具を使っていて、美しい仕上りです。

第72回書道芸術院展併催

第70回記念 全国学生書道展作品募集規定（抜粋）

会期 平成31年2月6日（水）～2月11日（月・祝）9：30～17：30
(入場は30分前まで)

ただし、2月11日は14：00まで（入場は30分前まで）

会場 東京都美術館（東京都台東区上野公園）
部門 ① 半紙部門（たて34cm よこ25cm）
② 半切1/2部門（70cm×35cm）
(どちらの部門にも出品できます。)

作品締切・搬入 日時 平成30年10月17日（水）

場所 〒101-0031

東京都千代田区東神田1-16-7 東神田プラザビル3階
公益財団法人 書道芸術院内 全国学生書道展事務局

半切½部門課題

小1	つる	たけ	小4	明日	生活	中1	出発	勇気
小2	ふじ	ばら	小5	親友	晴天	中2	陽春	決意
小3	山水	小鳥	小6	永遠	青空	中3	前進	念願
中学生は楷書または行書								

「全国学生書道展指導者作品展示」

児童、生徒と同じ半紙サイズで、現代書の多様な表現、書の楽しさ幅広さを皆様にご覧いただいております。書道芸術院関係役員、学生展指導者、書塾指導者の皆様の積極的なご出品をお願いします。

・出品資格

- ・本展出品指導者
- ・「書道芸術学生版」支部指導者
- ・書道芸術院審査会員

・作品寸法

- ・半紙額内自由
(額内寸 50 × 38 cm 以内)
(タテ・ヨコ自由)

※本紙寸法はすこし小さくして下さい。

- ・マクリのまま出品
(本院で一括表装依頼)

・出品料

- ・15,000円
(1人1点、表装料・返送料含む)

・出品手続き

- ・出品要項、出品票等を出品資格者へ送付する。
- ・必要な方はご請求ください。

・出品締切

- ・平成30年10月17日(水)
(学生展作品と同じ)
- ・詳しくは別紙要項をご覧ください。

書道芸術学生版秋季昇級試験規定

••毛筆
硬筆

一、しめきり日 10月8日(月)

一、発表 10月下旬

毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生 か ゼ (かいしょ)

二年生 り す (かいしょ)

三年生 谷 川 (かいしょ)

四年生 日 記 (かいしょ)

五年生 世 界 (かいしょ)

六年生 点 線 (かいしょ)

中学校一年生 散 歩 (楷書か行書)

二年生 銀 河 (楷書か行書)

三年生 温 暖 (楷書か行書)

一、受験料 各部一点 500円

毛筆 共 一人一点
硬筆 共 一人一点

一、書体

○小学生は楷書 (かいしょ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本

人が毛筆で書く。(幼・小一の方は、
学年を書かなくてもよい)

一、受験票

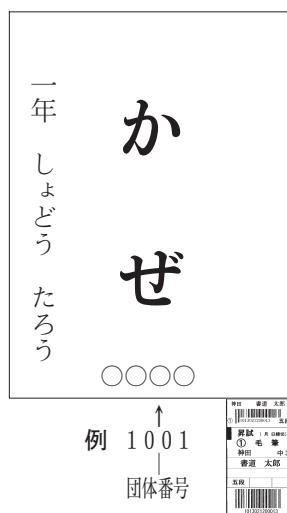
応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

(毛筆・硬筆共)



- 応募書類は9月25日以後に、受験番号を記入した応募書類と「昇級試験用」バーコード出品券を送付する。

○左図のように記入して出品する。
作品中央下に赤字で団体番号を記入する。



○くわしいきまりは、追ってお知らせいたします。

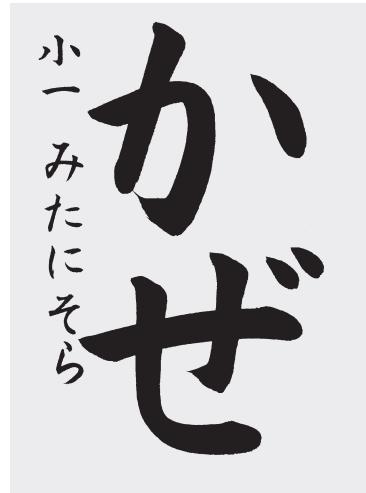
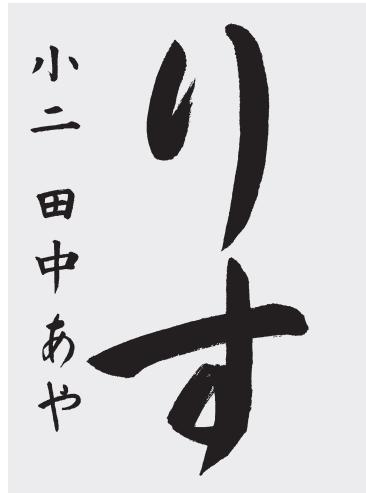
※10月号の購読部数を越える受験はできません。

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

小学 3 年

小学 2 年

小学 1 年



大平邑峰先生

廣瀬舟雲先生

大平邑峰先生

小学 6 年

小学 5 年

小学 4 年



廣瀬舟雲先生

名越蒼竹先生

名越蒼竹先生

中 学 3 年

中 学 2 年

中 学 1 年

楷書

中三

清川美鈴

溫暖

中二

藤田あかり

銀河

中一

地井武男

散步

辻元大雲先生

小竹石雲先生

種谷萬城先生

行書

中三

清川美鈴

溫暖

中二

藤田あかり

銀河

中一

地井武男

散步

辻元大雲先生

小竹石雲先生

種谷萬城先生

硬筆の部

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。
例「すが しんたろう」

一、支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。
例「すが しんたろう」
一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

※10月号の購読部数を越える受験はできません。

- 一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。
一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。
一、課題（各学年用）参考手本は来月号に掲載します。
一、空欄「。」「、」も正しく書く。

一、課題

支部名		
段・級	だん・きゅう	
学年	がくねん	
二	二	
名前	なまえ	
山川晴人	やまかわ はるひと	うがえりだ。
	すがしんたろう	すがしんたろう

支部名		
段・級		
学年		
二		
名前		
山川晴人	やまかわ はるひと	ねん土をこねて自
	た。	うがえりだ。

小学4年

小学3年

支部名		
段・級		
学年		
四		
名前		
羽方水紀	はぎ わき	の意見をまとめてみよう。
	。・	問題点を挙げ、みんな

支部名		
段・級		
学年		
三		
名前		
北村ひな	きたむら ひな	中できれいに光った。
	。・	はねが太陽の光の

支部名
段・級
学年
中一
名前
藤川光夏

いふ名前で呼ばれている。

ちは、僕たちの社会では勇気と逃げ出さずに戦うこの気持

支部名
段・級
学年
六
名前
田村幸太

率いて村はずれのねま
地にやつて来ました。

支部名
段・級
学年
五
名前
竹内マリ

き貝を見つけました。

で、ふしぎな美しさ。いま

用紙は、一冊30枚
つづり。送料を含
んだ金額は下記の
通りです。

秋季昇級試験で
硬筆の部を受験さ
れる方は、
本院指定の用紙
(月例と同じ用紙)
を使用するか、も
しくは指定の用紙
をコピーして、原
紙の大きさにあわ
せて切って出品し
てください。

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用 ② 4・5・6年生用
- ③ 2・3年生用 ④ 中学生用

料 金 表 (送料含む)

硬筆用紙9冊以下(1冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250

10冊以上のご注文は、送料無料。

秋 季 昇 級 試 験 硬 筆 の 部

を受験される方へ

支部名
段・級
学年
中一
名前
藤川光夏

いふ名前で呼ばれている。

逃げ出さずに戦うこの気持

漢字に親しもう

⑩

防

かん

じ

今月は小学校6年生の毛筆課題「防災」から「防」を取り上げます。

ぼう
ふせーぐ

部首
ふくしゅ

訓読み
くんみよ

音読み
おんみよ

画数
がくすう

筆順
ひじゆん

7画

（いざとへん）の部
ひづり

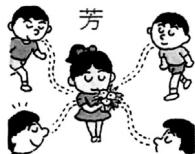
防

なりたち
ちうい

方（左右に柄のはり出した「すき」）とフ（つみあげた土）とを合わせた字。土を左右に長くつみかさねて水を防ぐ堤防のこと。
ふせぐ。守る。

意味
いみ

方のついた字は「両がわにばんとはりでる・四方にはりでてちらばる」という意味に関係がある。防
ふせぐ。（両がわにはりでて行く手をふせぐもり土）。妨
さまたが。（両手をひろげてじやまをする）。房（おも
屋の両がわにはりでたへや）。放（はなづ。はなつ）（四方には
りでてちらす）。芳（かんばしい）（草のかおりが四方にちら
ばる）。訪（おとづれ）（四方に出かけて人をたずねる）。



（小学館 例解学習漢字辞典より）

今回取り上げた「防」の文字ですが、間違いやすい点がいくつもあります。まず、「方」の筆順ですが、3画め「フ」よくまちがえている人をみかけます。また、「ござとへん・おおさと」と同じ「フ」でも位置が変わると呼び名がかわります。注意して書いてください。

解説

（豪峰）

多くの出品をお待ちしています。

第70回記念全国学生書道展の作品募集規定
が出来上がり、指導者の先生方に送りました。

半紙の部と半切½の部がありますので、ぜひ多くの皆さんに参加してもらいたいと思います。

今まで出品したことのない団体の先生で、新たに参加を希望する場合は事務局にお問い合わせください。指導者の先生には指導者展がありますので生徒と一緒に東京都美術館に多く

の先生方に出品していただければと思います。

○本誌の秋季昇級試験の規定が出来上がりましたので、毛筆・硬筆の手本と合わせて掲載いたしました。締め切りは10月8日（月）になります。

一生懸命練習して良い競書を出品してください。注意するところとしては小学生は楷書で中学生は楷書または行書、清書には「学年」「氏名」を受講生本人が書く。特に氏名は最後まで気を緩めずに仕上げてください。